特集

「第二歩」をどう踏み出すか

2年目の有報総会前開示の検討ポイント

各省庁、各種団体の動向を整理

第1章 2025年における有報総会前開示をめぐる動向

総会後倒し、有報前倒し等の対応策は

第2章 2年目の有報総会前開示に関する具体的検討事項

三菱UFJ信託銀行㈱
法人コンサルティング部部付部長 中川　雅博

2025年3月に金融担当大臣が公表した株主総会前の適切な情報提供についての要請は、昨年の開示実務に大きなインパクトを与えた。取組みの第一歩として総会前日ないしは数日前に提出するなど、短期間で対応を余儀なくされた3月決算企業にとっては、2年目に当たる本年の有報総会前開示をどうするのか、重要な検討課題といえる。

そこで、昨年の各省庁や各関係団体の対応や、企業の開示動向を整理したうえで、2年目の有報総会前開示を、今年から始めるのか、昨年同様とするのか、または、より早めるのかなどの方向性を検討するにあたっての留意点を解説していただいた。昨年の「第一歩」に続く「第二歩」をどう踏み出すかの参考にしていただきたい。